令和５年度　事　業　報　告

１.総　　括

本会における各種事業については、主体事業である退職共済事業をはじめ、適正な事業の実施に努めた。

また、会員状況については、少子高齢化に伴い前年よりも被共済職員数の減少がみられているものの、退職金の原資となる資金の運用については、適正な資金の運用に努めたこと、及び経済状況等により期待以上のプラスを確保することができている。

今後も本会事業の発展と充実を図っていくこととし各種事業内容は以下のとおりである。

２.退職手当共済事業及び会員の状況

（１）資金の運用

運用基本方針並びに年度のポートフォリオに基づき、資金運用に係る打合せを委託先である三菱 UFJ 信託銀行と適宜開催し、リスクの最小化を図り制度の資金運用の充実に努めた結果、国内株式・外国株式は大きくプラスとなり、外国債券も円安の影響がプラスに寄与するなど、令和５年度は資金全体では通期において 17.49%と大きなプラス運用となった。引き続き、超長期的な運用であることを含め充実に努める。

（２）退職手当金・返還金の支給

①　退職手当金の支給

年 度 内 退 職 者	１，３１６名	退 職 金 総 額	1,022,206,872 円
（うち、第二種退職者）	（５０５名）	（第二種退職金額）	（190,866,602 円）

②　返還金の支給

１年未満の退職者	２２３名	返 還 金 額	3,184,082 円

（３）被共済職員新規加入者数

現行制度：１，３４９名	第二種制度：６２７名

（４）会員の状況（令和６年３月末日現在）

会　　員　　数	１７２法人【事業所（施設）数：８９２】 （施設経営法人：155 法人+市町村社協等：17 法人）
被共済職員数	１２，２０２名 ※ 第二種加入職員総数:5,066 名（0.89%減）

（５）令和５年度の退会法人

退会年月日	法　　人　　名	地　域
令和６年３月 31 日	(社福)大泉会－31 名	蔵王町

３． 会 務 の 運 営

（１）総　　会

期日・場所	内　　容
定期総会 令和５年５月３０日	① 令和４年度 事業報告について ② 令和４年度 決算について　　（監査報告） ③ 役員の改選について 〔報告事項〕 ① 令和５年度の事業計画及び予算について

（２）監　事　会

期日・場所	内　　容
令和５年５月１６日	① 令和４年度 事業及び運用状況について ② 令和４年度 決算について

（３）理　事　会 －（開催毎、運用部分は三菱 UFJ 信託銀行による説明を実施）

期日・場所	内　　容
第１回理事会 令和５年５月１６日	① これまでの運用について ② 令和４年度 事業報告について ③ 令和４年度 決算について　　（監査報告） ④ 規程の整備について（就業規則、育児・介護休業等に関する規程） ⑤ 定期総会の開催方法について
第２回理事会 令和６年３月１４日	① これまでの運用状況と令和５年度の運用について ② 令和６年度 事業計画について ③ 令和６年度 予算について ④ 役員賠償責任保険について

４．事　務　事　業

本会事務事業における下記事項について継続して適切な対応に努めた。なお、加入検討している法人等については本会事務所にて随時説明を実施した。

（１）制度説明・加入・手続き等制度の普及・周知

（２）振興会通信における事務手続等の周知

（３）福利厚生センター事業への一部事務の協力

（４）事業ＰＲと広報活動として、壁掛及び卓上カレンダーを配布した。

（５）永年勤続者（勤続 30 年以上）に表彰状・記念品を贈呈した。

（６）寄付及び各種事業等への協力

① 本会を通して、三菱ＵＦＪ信託銀行「かけはし信託愛の基金」による本会会員法人への寄付の協力を行った。→ （社会福祉法人） 仙台市手をつなぐ育成会

５．福利厚生事業の推進

社会福祉法人福利厚生センターとの事業と併せ、以下の各種交流事業の実施と地域開発事業の推進に努めた。

（１）会員交流事業の実施

① 「楽天イーグルス観戦」チケット斡旋

② 「ゆったり温泉プラン」

（令和５年 11 月 10 日から 12 月８日の間で１泊２日利用）

（２）北海道・東北ブロック内講習会の実施

①「接遇講習会」（令和５年１０月１７日、青森市－青森県社会福祉協議会）

②「メンタルヘルス・アンガーコントロール研修」

（令和５年１０月２０日、山形市－山形県社会福祉協議会）

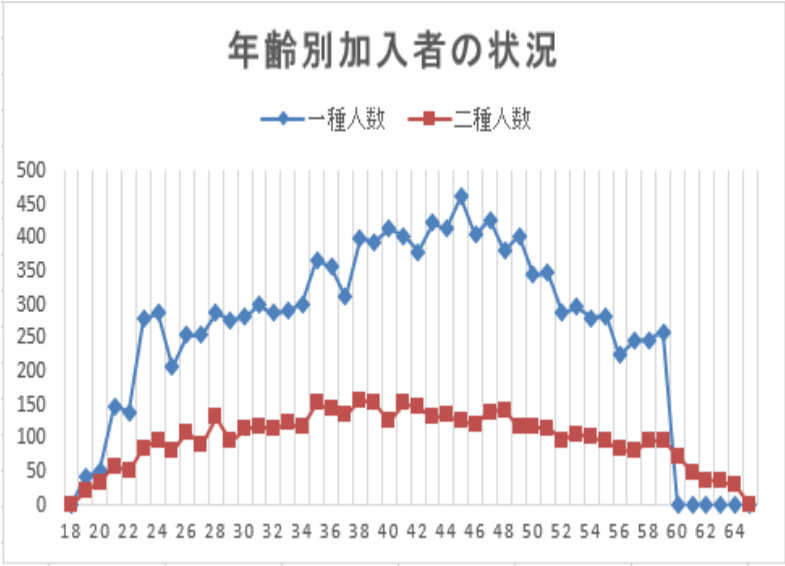
（３）宮城県独自の提携企業先の拡大を図るための地域開発事業の推進

（４）福利厚生センター事業内容及び活用等についての加入勧奨(随時)

６．ブロック会議・全国会議・セミナー

全国民間社会福祉事業従事者共済連絡協議会及び共済関連の会議については、以下のとおり。また、一部オンラインでの開催を実施した。

会　　議　　名	内　　容
北海道・東北＋埼玉ブロック会議 (一社)北海道民間社会事業職員共済会及び一社) 全国民間社会福祉事業従事者共済連絡協議会共催) 【札幌市―令和５年７月 21 日】	１．各県共済事業実施団体の実施状況について ２．参加団体における課題・協議・情報交換 ３．全国共済連絡協議会の現況報告と課題
全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会 全　国　会　議 (鹿児島県社会福祉協議会　－　鹿児島市) 【令和５年 11 月 16 日～17 日】	〔第１日目〕　〔メインテーマ〕 《介護・福祉の未来を拓く新たなアプローチ》 ◎〔全体会〕 1.基調講演Ⅰ 「福祉・介護分野の現状と人材確保対策の方向性」 厚生労働省社会援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室　室長補佐　塩野　勝明　氏 2.基調講演Ⅱ　「契約者・投資者保護と金融施策の動向」 財務省九州財務局理財部第３課 上席調査官　大川 一夫　氏 3.講演　「介護・福祉の未来を拓く新たなアプローチ」 三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング経営コンサル　大西 徹郎　氏 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング業務ITコンサル　橘高公康　氏 4. 事務局報告「共済制度の運営上の課題と連絡協議会の役割について」 一社）全国共済連絡協議会　常務理事兼事務局長　塚口 研一 氏
	〔第２日目〕－(パネルディスカッション) １．「FINANCIAL WELL-BEING 向上と人材確保・定着」 ・一社）全国共済連絡協議会　常務理事兼事務局長　塚口 研一 氏 ・一社）全国社会事業振興センター制度運営アドバイザー　倉持昭一　氏 ・三井住友信託銀行大阪本店年金営業第五課長　毛利哲也　氏 ２．「運用効率から見た資産運用」 ・一社)全国共済連絡協議会資産運用アドバイザー　八木　隆一　氏 ・SONPO アセットマネジメント投資顧問営業部長　榊原　一久　氏
九州ブロック会議 (熊本県社会福祉協議会－熊本市) 【令和５年 10 月 24 日】	民間社会福祉事業従事者共済制度を取り巻く社会情勢と今後の方針について

会　　議　　名	内　　容
資産運用セミナー ①　マーサージャパン(株) 【東京都―令和５年７月３日】	資産運用の基礎・運用目的・目標資産配分等について
東海・近畿ブロック会議 (一財．大阪民間社会福祉事業従事者共済会) 【大阪市―令和５年２月 14 日】	・共済制度と資産運用について ・事務手続等の電子化について ・全国連絡協議会からの情報提供
その他－オンライン開催	１．資産運用セミナー(三井住友信託銀行) ２．中国四国ブロック会議

【参　　考】